

# くまざわ書店蕨錦町店

## セルフレジ 高い利用率

導入 2カ月 **土・日 75%** **平日 67%**

くまざわ書店蕨錦町店(埼玉・蕨市)で導入しているセルフレジの利用率が土・日曜日で約75%、平日で約67%と高い水準で推移している。4月24日の開店時から3台を配置。精算するスピードを高める目的から、同店スタッフがサポートする「セミセルフ型」のオペレーションが奏功している。熊沢宏専務は客を待たせず、レジ精算業務を効率化させるマニュアル店として位置づけ、今後導入店を増やしたいと話している。

### セミセルフ型でスピード精算

同店は4月、商業施設であるビハモールの2階に、売場面積200坪で新規出店。レジ台には、光和コンピューターが開発したセルフレジ「KPOSSセルフ」2台と、「スタッフレジ」1台を用意した。

書店には品揃え、客法接客など様々な読者サービスがあるが「混雑時に、いかに早く精算するかも重要な決済方法が多様化するなかで、ストレスなく本や文庫を購入できるようにセルフレジを導入したという。書籍用のブックカバーは無料だが、有料のビニール袋や紙袋も用意している。「KPOSSセルフ」は現金、クレジットカード、各種PayのQRコード、電子マネー決済が可能。図書カードも近く対応できるようにしている。

熊沢宏専務は「レジの操作に慣れた客は、この全工程を自分で行うこともできる。蕨錦町店のセミセルフ型の精算業務は、従来型よりスムーズで、売上げも好調である」という。

今年2月には田町店(東京・港区)でも導入している。熊沢宏専務は「現行オペレーションをバージョンIとし、将来的に客が自分でバーコードを読み取るバージョンII、スタッフが客の横に立って手伝うバージョンIII、完全フルセルフのバージョンIVへの移行も視野に入れている」という。

客のなかには、購入後の本をブックカバーも紙袋も使用せず、むき出しにしたまま持つ、再度店内に戻っていく人もいる。万引犯と誤認しない



セルフレジ2台、スタッフレジ1台が設置。現在、同店ではスタッフの本のバーコードを読み取り、ブックカバーなどの有無を聞いて対応し、本を手渡す。客はレジに入金して、レシートを受け取るだけ。セルフレ

この全工程を自分で行うこともできる。蕨錦町店のセミセルフ型の精算業務は、従来型よりスムーズで、売上げも好調であるという。

熊沢宏専務は「現行オペレーションをバージョンIとし、将来的に客が自分でバーコードを読み取るバージョンII、スタッフが客の横に立って手伝うバージョンIII、完全フルセルフのバージョンIVへの移行も視野に入れている」という。

客のなかには、購入後の本をブックカバーも紙袋も使用せず、むき出しにしたまま持つ、再度店内に戻っていく人もいる。万引犯と誤認しない